

目指せ！減肥・減農薬

～農業における環境負荷低減に向けて～



堆肥の散布



静岡県持続的食料システム
円卓会議の様子



有機農産物の出荷風景



天敵利用による農薬低減



有機食材を使ったランチプレート

令和5年9月 経済産業部農業局

なぜ、農業における環境負荷低減が必要か？

背景

- 世界的なSDGsの達成や脱炭素に向けた動き
- 世界の温室効果ガスの排出量の1/4が農林業由来
- 生物多様性保全の視点からも持続可能な農業生産が求められている

CH₄ : CO₂比 25倍
N₂O : CO₂比298倍
地球温暖化係数AR4

国の動き

- みどりの食料システム戦略の策定 (R3年5月)

県の動き

- 静岡県持続的食料システム実施計画の策定 (R5年3月)
- 計画に基づき静岡県持続的食料システム円卓会議を設立 (R5年6月)



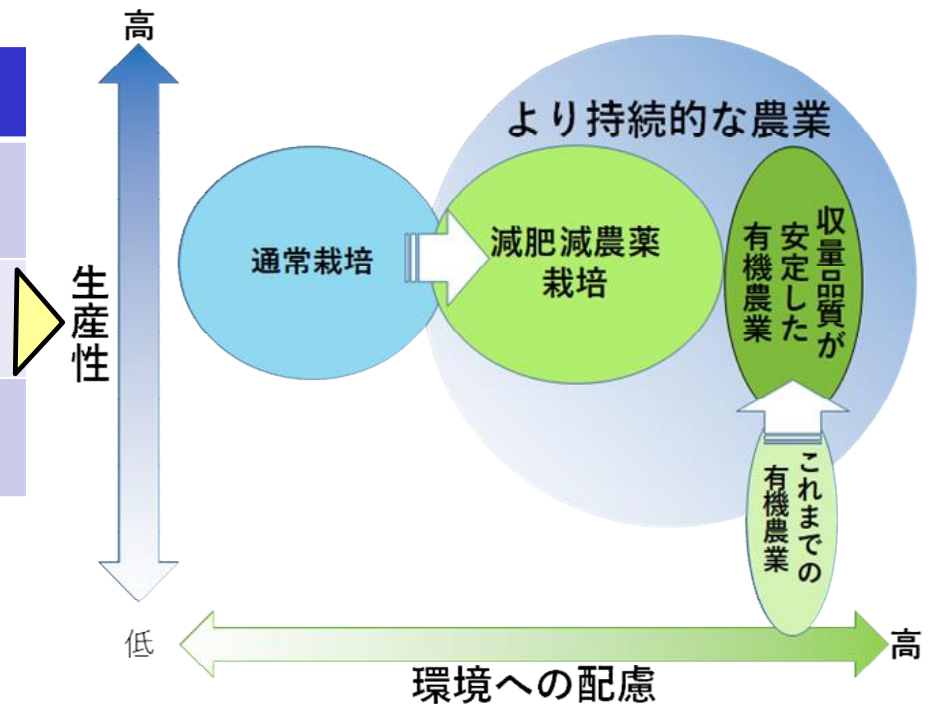
静岡県持続的食料システム実施計画の概要

目標

指標	現状値	目標値
化学肥料 使用量	2016年	20%減 (2030)
化学農薬 使用量	2019年	10%減 (2030)
有機農業の 取組面積	418ha (2020)	820ha (2030)

目指す姿

環境に配慮しつつ生産性を高める



2

計画目標達成のための取組事項

区分	主な取組内容
有機農業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○有機農業指導者育成研修 ○有機 J A S 検査員養成研修 ○オーガニックビレッジ宣言市町の支援 ○有機茶栽培の堆肥活用の推進
減肥減農薬栽培への転換	<ul style="list-style-type: none"> ○有機質資源の肥料利用促進 ○アイガモロボットによる水稻雑草抑制 ○衛星画像の A I 解析を活用した土壌診断 ○温室メロン、いちごの天敵等利用による農薬低減
消費者の機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者への普及啓発を推進する人材の育成 ○有機 J A S、G A P 等認証制度の理解促進 ○研修会、H P などを通じた普及啓発



堆肥散布機の利用



鶏糞の肥料利用



有機JAS認証マーク

3

主な取組の紹介

減肥減農薬栽培への転換技術の例（R5～実証中）

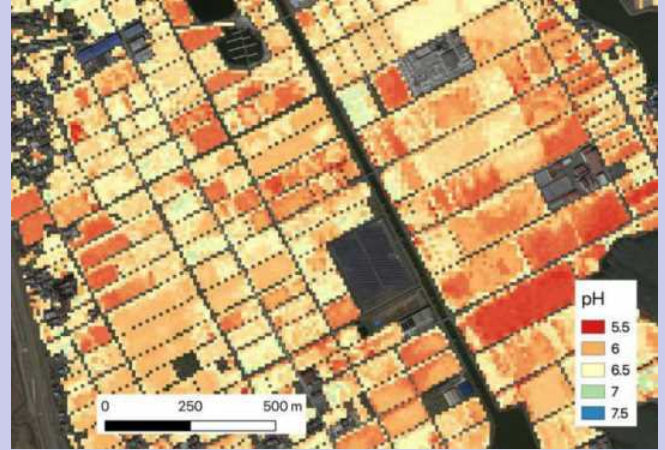
アイガモロボットによる 水稲雑草抑制



本体下部のスクリュー

水流で泥を攪拌し、雑草を抑制
⇒ **除草剤の低減や省力化**

衛星画像のA I 解析を活用した 土壌診断



(土壌のpHを測定)

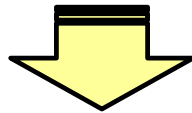
土壌内に残る肥料成分を簡便に把握
⇒ **適正施肥の推進**

4

今後の展開



- 有機農業の拡大
- 減肥減農薬栽培への転換
- 消費者の機運醸成



将来を見据えた持続可能な農業の実現



5